

視点

OTC類似薬は 5割患者負担でどうか

OTC類似薬は、薬局で買う市販薬（OTC医薬品）と効果やリスクがほとんど同じであるが、受診して医師の処方箋が出ると保険給付の対象になる。このため患者は市販薬よりも安く手に入れることができない。他国では医薬品のリスクレベルに応じて処方箋の要否を決定する仕組みが整備されているが、日本では基準が不明確なので、このような現象が生じている。このOTC類似薬について、日本維新の会が新年度予算案に関する与党（自民・公明）との協議で、公的医療保険の対象外とし、全額

自己負担にすることを提案した。OTC類似薬は、数千億円とも1兆円とも言われているが、保険から外せば、その分若人の保険料負担が減る効果があるという主張だ。これに対して、日本医師会は真つ向から反対している。その理由としては、市販薬は価格が高く、特に経済的に困窮している人の負担が増す。患者が自己判断で市販薬を使用し、適切な治療を受けずに病状が悪化する可能性があるのだ。

確かに、老人は1割負担なので、いきなり全額自己負担だと言われ、困る。特に慢性疾患をもち、OTC類似薬を長期にわたって服用しなければならぬ患者にとつて、市販薬は負担が重すぎる。一方、OTC類似薬まで保険給付していれば、国民医療費は膨らみ続け、若人の負担が重くなりすぎるということにも一理ある。セルフメディケーション、リフィル処方箋の普及、スイッチOTCなどを進めることは当然として、ここは安直なようだが、OTC類似薬の患者負担は5割とすれば落ち着きがいいのではないか。今後の政治決着に注目したい。

社会保険旬報

目次

No.2961 2025年4月21日

視点

OTC類似薬は
5割患者負担でどうか 3

座標

中医協8年度改定のスケジュールを了承
WAMの無担保融資は最大7.2億円 4
日本外科学会が医師の働き方改革を調査
WAMが老健施設の経営状況を調査 5

動向

新地域医療構想、医師偏在対策、医療DX
—医療法等一部改正法案が国会で審議入り
..... 6

レコーダ

日本医師会が代議員会開く
医療機関の厳しい経営状況へ対応
令和8年度改定前の期中改定も視野に ... 10

論評

85歳以上高齢者増と
若年人口激減への医療界の対応
—病院の再編と撤退に向けた
ガイドラインと支援策の必要性
高橋泰 14

随想—視診・聴診

感染余波
高山哲夫 20

潮流

米国研究製薬工業協会が政府に要望 21
医療事故調の検討状況報告 22
全国総合健保組合協議会が総会 23
国保中央会が総会を開催 24
柔整オンライン請求で中間まとめ 25
2040年検討会が中間とりまとめ 26
2024年病院看護実態調査の結果を公表 ... 28
医学生や研修医の労働法教育支援 29

NEWS

近総協が総会で令和7年度事業計画や
予算を承認 ほか 30

資料

医療法等一部改正法案の参考資料 39

経済スコープ 41

編集室・ワードカプセル 42